



ジェンダーブックカフェ

『到来する女たち』を読む

石牟礼道子・中村きい子・森崎和江の思想文学

2026

6.28_{sun}

15:00 - 16:30

ウィングス京都

あわいを漂う言葉とともに、 社会を旅する

ジェンダー課題とともにあらゆる格差・不平等がある社会を
連なり越えゆく言葉で探索します。

ジェンダーブックカフェとは

ゲスト講師を招き、一冊の本にある表現を
参加者同士で読み深めていく対話型の講座です。

それぞれの解釈や感覚を持ち寄りながら、
言葉を通して他者を知り、自分を知る。
ひとつの答えにたどり着くのではなく、
多様な思想が交差する時間を大切にします。

テーマとなる本



『到来する女たち 石牟礼道子・中村きい子・ 森崎和江の思想文学』 渡邊英理 著

石牟礼道子、中村きい子、森崎和江——
それぞれの言葉に現れる個と集団のあり方を、
「思想文学」という視点から読み解く一冊。

不揃いなままで「わたし」が「わたしたち」
になる—

この時間にひらかれるもの

文学者であり思想家でもある三人の表現—

石牟礼道子の言葉にある精神と肉体の両面における
絶望のなかの希望への意志を

中村きいこが見出した二重性を帯びた支配構造の下に
ある言葉の磁場を

森崎和江の居場所をもたない小さな声を束ね、「交流」
が生む地帯を手がかりに開いた別様の世界を

そして「聞き書き」によって書かれた彼女たちの「思想文学」
が創造する可能性を作者とともに読みひらきます

講師プロフィール

渡邊英理（わたなべ・えり）

熊本県生まれ、大阪経由、鹿児島県育ち。大阪大学大学院人文学研究科教授。日本語文学、批評／批評理論、思想文学論。近現代日本語文学／戦後文学を（再）開発という視座から研究する。小説や詩を文学的言語として読むと同時に、思想の表現として読み、批評理論や文学理論、現代思想にも持続的に関心を持つ。フェミニズム批評にも力を入れている。

単著：『中上健次 路地のビジョン』（岩波新書、2026年6月）、『中上健次論』（インスクリプト、2022年7月、第14回表象文化論学会賞受賞）。

最近の論文：「供儀の祀／政の彼方へ——石牟礼道子、「南九州」の「モダニズム」」（『KAWADE夢ムック 文藝別冊 石牟礼道子 増補新版、水俣病公式確認70年のために』2026年4月、河出書房新社）、「「内戦」の「戦後文学」——中上健次『奇蹟』（『ユリイカ』2026年6月臨時増刊〈総特集：中上健次 生誕80年〉、2026年5月、青土社）、同号には巻頭対談「中上健次を更新する」（内藤千珠子氏と）も掲載。現在、「女たちの群像」を『群像』2025年5月号より隔月連載、「おごじよの本棚」を『西日本新聞』（2025年6月～）に連載中。共同通信・文芸時評「いま、文学の場所へ」（2023年4月～2026年3月）を月一連載。

ジェンダーブックカフェ

『到来する女たち 石牟礼道子・中村きい子・森崎和江の思想文学』を読む

開催日時：2026年6月28日（日）15時～16時30分

講師：渡邊英理

会場：ウィングス京都 1階 図書情報室

参加費：無料 <要申込み・先着順5月11日～>

定員：20名

無料保育あります：4ヵ月～就学前までのお子さまは6/14（日）までに要申込み



ジェンダーブックカフェは
年4回の開催を計画しています

—— テーマ予定 ——

・『身分帳』（佐木隆三 著）を読む
講師：西川美和（映画監督／作家）

・アジアのジェンダー文化を読む
講師未定

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会 啓発・連携チーム

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262 京都市男女共同参画センター ウィングス京都

TEL：075-212-8013 / FAX：075-212-7460

Mail：jigyo@wings-kyoto.jp / https://www.wings-kyoto.jp/

《開館時間》月～土 9：00～21：00（水曜休）日・祝 9：00～17：00

【個人情報の取り扱いについて】申込者の住所・氏名・連絡先などの個人情報は申込みいただいた講座・催しに関する事務連絡および関連する事業の御案内などに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

■主催 京都市 ■企画・運営 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

